

満月のように大きく実る

あき みつき
「秋満月」

今秋デビュー

千葉県生まれの梨の新品種が今秋にデビューします。
県農林総合研究センターで12年間かけて
開発されたオリジナル品種です。新品種のお名前は、
5,715点の応募の中から「秋満月」に決定しました。
お名前は収穫の秋、満月のように大きく実った梨に、
農家と消費者の喜びと感謝の気持ちが込められています。
☎711-1141農業振興課



開発者にお話をうかがいました 県農林総合研究センター 押田正義さん



梨は品種によって採れる時期が違います。新高が少し古い品種なので、新高くらいの時期に採れる、もっと良い品種を作るという目標で秋満月の育種を始めました。果物の育種は親となる品種を決めて種をとって育てるため時間がかかりますが、12年は順調に研究が進んだほうです。育種をする際には子どもに欲しい特性を想定して親を選びますが、秋満月は採取時期が遅めの大き

い梨にしたかったので、果実が滑らかでおいしい豊水と、晩生で肉質が良く大きい7-7という品種を親に選びました。試験栽培を開始した際には、市場でも評価が高く、新高を多く作っている市川市の農家さんにも全体の約1/4の試作をご協力いただきました。今後秋満月の栽培が広がり、多くの方に食べていただけるようになればありがたいです。

秋満月の生産者にお話をうかがいました 市内梨農家 荒井一昭さん

試験栽培を依頼されまだ名前も決まっていなから、有望品種かもしれないということで期待をこめて秋満月の栽培を始めました。元々ある木に接ぎ木をして10年以上試験を行い、今年から市場に出すことになりました。1つの木で長く梨をとるために、梨の枝を数年ごとに替えるのですが、新しい枝がなかなか伸びないことが大変でした。

昨年できた秋満月を東京の市場関係者7~8社に食べてもらいアンケートをとったところとても良い評価をいただきました。市場を通して多くの方に食べてもらうことを期待します。

秋満月は肉質が柔らかく、甘さが舌に残ります。常温だと日持ちするし、新高のように大きい。収穫してからすぐ食べるよりも少しおいたほうがおいしくいただけます。おいしい秋満月をぜひ食べてください。

秋満月って
どんな梨？

食味	甘みが強く、酸味が少ない。 果肉は柔らかく滑らか、果汁はたっぷり
大きさ	約700gと大きい
日持ち	収穫後、常温で28日程度保存可能
収穫時期	9月中下旬~10月上旬

秋に食べごろを迎える 市川のなし

あきづき

収穫時期

9月上旬~下旬



果実は扁円形で、果重は500g程度と豊水より大きいのが特徴です。幸水のみずみずしさ、豊水の甘さ、新高の大きさをあわせ持った品種で、みずみずしくほどよい甘さが特徴です。

新高

収穫時期

9月中旬~10月上旬



大型の梨で、果実は500g~700gと大変大きく育ちます。やや硬めで甘みが強く香りも良い梨です。大きくて見栄えが良いので贈り物にもぴったり。日持ちも良く、冷蔵庫などで保存すれば1カ月以上持ちます。

市川のなしを買うには

「市川のなし」は道の駅いちかわや一部の市内スーパーでも販売されていますが、全体の約7割は直売所で販売されています。

「農産物直売所マップ」は農業振興課に設置しております。また、JAいちかわのWebサイトにも掲載されておりますのでご利用ください。なお、秋満月は今秋道の駅いちかわなどで販売予定です。